

新たなコミュニティの活気ある ふる郷づくり

—保健休養機能—

おおまごえ

大馬越地区コミュニティ協議会



日本棚田百選の「内之尾棚田」

市町村合併を契機にした市の推進方策により協議会を設立した。協議会は自治活動部会、青少年部会、健康福祉部会、環境地域づくり部会の4つの部会で構成されており、ホタルの鑑賞会「ホタルの夕べ」、伝統芸能「といあげ祭り」の伝統、休耕田等を活用して作ったしそジュース「しそっぷ物語」や地元産大豆を使用した豆腐「まごえのおかべ」などの特産品作り、農家民宿等による都市住民との交流を進めている。



鹿児島県薩摩川内市

〔保健休養〕

ホタルを見ながら自然の中でゆっくりと心を休める場を提供する「ホタルの夕べ」は、鹿児島市などから約 350 人の参加があり、地域の伝統芸能（剣舞）の披露や地域の特産品で作った夕食などを提供している。



ホタル鑑賞会
「ホタルの夕べ」

〔伝統文化の継承、体験学習と教育〕

といあげ（米の収穫）祭り、さなぶり会（田植作業の疲れを癒す宴会）など地域の伝統芸能・伝統行事の活動を継承している。

また、地元小学校と連携して豆腐づくりやしめ縄・門松づくりなど、学校行事ではできない地区ならではの体験活動を通じ、子ども達にふる里や農業・農村の大切さを伝えている。



「といあげ祭り」

さらに、農業や農村の自然を体験する農村体験型修学旅行の受け入れや、農家民宿など、都市住民との交流を進めている。

〔地域社会の振興〕

地区の休耕田を利用したしその栽培から、しそジュース「しそっぷ物語」の加工・販売までの6次産業化に手がけることで、多くの方が作業や活動に携わることができ、地域の活性化につながっている。

また、本協議会の活動を契機に、地域内の他のグループとの連携などから、地域内外での新たな連携や活動が生まれている。

地域ブランドしそジュース「しそっぷ物語」の作成過程



地元の小学生の料理教室



「八重高原星物語 2012」で
自慢の焼き餅等の販売